

第31回

おう だい がく

奥羽大学 公開講座

奥羽大学発 健康宣言2026

参加無料

駐車場完備(無料)

予約不要

第3講義棟(会場)

● 開場/9:00

第1回

見逃し注意！隠れ脱水症状

～適切な水分補給は健康維持のスタート～

薬学部 教授 杉田 尚寛

6月20日(土)

9:30～11:00

<質問受付>

11:00～11:30

(定員 100名)

第2回

お口のがん「口腔がん」について知ろう

歯学部 講師 小嶋 忠之

7月4日(土)

9:30～11:00

<質問受付>

11:00～11:30

(定員 100名)

第3回

高齢者の特徴や健康、病気について

薬学部 教授 小池 勇一

7月18日(土)

9:30～11:00

<質問受付>

11:00～11:30

(定員 100名)

第4回

お口の機能は健康長寿に直結！

～歯をなくしたら義歯やインプラントで回復を～

歯学部附属病院 教授 山森 徹雄

9月5日(土)

9:30～11:00

<質問受付>

11:00～11:30

(定員 100名)

奥羽大学には授業料を全額免除する特待生入試制度がございます

奥羽大学 学事部

TEL (024) 932-8994

〒963-8041 郡山市富田町字三角堂31番1 FAX (024) 933-7372 E-mail : info@ohu-u.ac.jp

お問合せ先



6月20日(土) 9:30 ~ 11:00

11:00 ~ 11:30 質問受付

見逃し注意！隠れ脱水症状 ～適切な水分補給は健康維持のスタート～

薬学部 教授 杉田 尚寛

身体を維持するためには水分が不可欠です。人間の体液(水分)は、胎児の時は体重の約90%、赤ちゃんの時は約80%、成人は約60～55%、高齢者は約55～50%程度です。水分は、体内の循環に欠かせない役割を果たしていますが、自身の水分摂取への認識は十分とは言えません。例えば、隠れ脱水症状は、3つの臓器の症状【脳】ふらつき、めまい、立ちくらみ、【消化器】食欲低下、【筋肉】こむら返り、しびれる痛などの症状が入り交じって出ることがあります。これら脱水症状による健康障害や重大な事故などの予防には、こまめな水分補給が効果的であることを提唱されているが、多くの方には周知されていません。

今回、お話する内容(見逃し注意！隠れ脱水症状)をとおして適切な水分摂取に関する習慣を学びましょう。さらに、環境省、厚生労働省、国土交通省が取り組んでいる「健康のため水を飲もう」推進運動を紹介します。

7月4日(土) 9:30 ~ 11:00

11:00 ~ 11:30 質問受付

お口のがん 「口腔がん」について知ろう

歯学部 講師 小嶋 忠之

口腔がんは口の中にできる悪性腫瘍の総称です。歯以外の舌や歯ぐき、頬の内側、口の底などに発生します。日本でも近年増加傾向にあり、口と喉のがんを合わせると1年間に新たに約2万人以上の方が診断されています。これは 20年前の2倍そして、50年前に比べておよそ10倍に増加しました。

口腔がんの特徴としては男性に多く、年齢は50歳以降で加齢とともに増えていきます。主な誘因として、たばこやお酒の習慣、慢性的な刺激、合わない入れ歯や被せ物、口の中の清掃状態の悪さなどが知られています。

口腔がんの初期の段階では痛みが少ないことが多く、口内炎がなかなか治らない、しこりがある、白い部分や赤い部分があるといった変化だけのこともあり、発見が遅れることが少なくありません。今回は口腔がんの基本的な知識をわかりやすく解説し、どのような症状に注意すべきかお伝えします。また、治療方法についても紹介します。

7月18日(土) 9:30 ~ 11:00

11:00 ~ 11:30 質問受付

高齢者の特徴や健康、 病気について

薬学部 教授 小池 勇一

我が国の高齢化は世界に類を見ないほど急速に進展しています。令和7年版高齢社会白書によれば、令和6年10月現在の我が国の総人口は1億2380万人であり、その中で65歳以上の人口は3624万人、総人口に占める65歳以上人口の割合(高齢化率)は29.3%でした。福島県で見ると、令和6年(2024年)の65歳以上の高齢化率は33.7%であり、全国的に見ても高い高齢化率となっています。さらに、健康上の問題で日常生活に制限のない期間、いわゆる健康寿命と平均寿命との差に関しては令和4年(2022年)では男性では8.5年、女性では11.6年となっており、この差が病気や介護など、健康に何らかの支障がある期間となります。このような状況から、今一度高齢者は青壮年者とのように違うのか、高齢者に特有な病気や高齢期を健康的に過ごすことの意義について考えてみたいと思います。

9月5日(土) 9:30 ~ 11:00

11:00 ~ 11:30 質問受付

お口の機能は健康長寿に直結！ ～歯をなくしたら義歯やインプラントで回復を～

歯学部附属病院 教授 山森 徹雄

医療制度の整備や国民への健康に関する啓発活動により、わが国は世界でもトップクラスの長寿国となりました。しかしながら人生最後の約10年間は介護が必要となることも知られています。生き甲斐をもって生活するためには、健康寿命すなわち病気や要介護の状態ではなく、自立して活動できる期間を延伸することが大切になります。

大規模な疫学調査によって、お口の機能が低下した状態(オーラルフレイル)になると、全身的な虚弱状態(フレイル)となったり、要介護となるリスクが2倍以上であることが明確になりました。これは栄養摂取が十分に行えないことによるものと考えられています。

歯を失うことによって「食べる」機能が低下し、オーラルフレイルの原因となります。「食べる」機能の低下を防ぐための歯科治療としては、義歯、ブリッジ、インプラントがあります。今回はそれぞれの特徴についてご説明し、治療法の選択についてのポイントをお話しします。



JR 郡山駅から磐越西線に乗車し、
郡山富田駅で下車。駅から徒歩7分。

